

全国認定こども園協会 中四国地区・広島岡山支部合同研修会

～連続講座～

子どもたちの育ちを支える 保育環境づくり



企画協力 おおぞら教育研究所

子どもたちの「やってみたい!」「自ら選んで、自由に遊びたい!」という主体的な活動を生み出す環境は、どのようにしたら出来るのだろうか?また、子どもたちが「自分の力を最大限発揮して、挑戦したい!」と思う気持ちを叶えてあげるには、どんな環境を提供し、どんな関わり合いをもったらいのだろうか?私たち保育者は、いつもそんなことを考えながら、模索し続けています。



しかし、不安感から、つい子どもたちの「やってみたい」にブレーキをかけてしまいます。そんな私たちに、たくさんのヒントがもらえる、連続講座を計画しました。

全国各地で、積極的に挑戦されている園の事例をもとに学びながら、自園の新しい保育環境づくりを考えてみませんか?



※この度の研修は処遇改善等加算Ⅱの研修として認定されておりますので、受講者のなかで希望される方には修了証を発行させていただきます。

《参加費》※講座一回ごとの料金となります

全国認定こども園協会 中四国地区・広島岡山支部会員…	1,000 円
全国認定こども園協会会員	… 2,000 円
会員外	… 3,000 円

《連続講座日程と講師》

今回の講師のみなさんはすべて「思い切って何かをやりはじめた」ことのある園におられます。大泉保育園と三瀬保育園（第1回目）は園庭や室内という違いこそありますが、変化前を思い出せないほどの進化を遂げています。宮の森こども園・守山幼稚園（第2回目）は、公私の違いはありますが、思い切った決断で、保育の見直しを行っています。鳩の森愛の詩瀬谷保育園と札幌トモ工幼稚園（第3回目）は、保護者の大胆な参画を通して保育の在り方を常に問い続けています。

ところで、この講座のすべてにおおぞら教育研究所の木村歩美と大島智子が講師として加わります。登場するすべての園にかかわりを持ち、その変化の歴史を肌で感じてきている良さを生かし、オンラインであることも活用しながら各回、楽しい2時間になるよう、努めていきます。

第1回目 子どもたちの育ちを支える保育環境づくり

～保育環境を考えるにあたって、「子ども観」「遊び観」「保育観」を再考しよう～

講師：小島美紅／東京・ラフ・クルー大泉保育園長 本間日出子／山形県・三瀬保育園長

開催日時：10月13日（水）14時～16時 申込期間：9月29日（水）～10月6日（水）

第2回目 保育環境づくりのヒントは、子どもたちの姿にある

～公私幼こ保の施設、経営母体に関係なく自園の子どもたちの学びを支える保育環境づくりを検討する～

講師：宮下葉子／北海道厚真町立宮の森こども園長 児玉匡信／愛知県・守山幼稚園長

開催日時：11月5日（金）14時～16時 申込期間：10月14日（木）～10月29日（金）

第3回目 保護者も一緒に園全体で保育環境作りを楽しむ

～子ども・保育者・保護者という、トリレンマからの脱却をめざす取り組み～

講師：瀬沼幹太／神奈川・鳩の森愛の詩瀬谷保育園長 宮武大和／北海道・札幌トモ工幼稚園主幹教諭

開催日時：12月7日（火）14時～16時 申込期間：11月6日（土）～11月30日（火）

《申込方法》

- ・QRコードを読み取るか、下記URLよりお申し込みください。
(<https://bit.ly/3kMs2jh>)
- ・お申し込みいただいたアドレスに参加費のご請求書をお送りしますので、ご入金ください。
研修会のZoomIDは、研修会開催日の前日までにお送りします。
後日、見逃し配信もあります。
- ・お問い合わせ

全国認定こども園協会 広島岡山支部事務局（こうわ認定こども園事務局内）
TEL：082-890-2226 FAX：082-890-2227



〈〈講師 紹介〉〉

全講座に、おおぞら教育研究所の木村歩美と大島智子が、講師として加わります。

第1回目

子どもたちの育ちを支える保育環境づくり

～保育環境を考えるにあたって、「子ども観」「遊び観」「保育観」を再考しよう～

――講師――

小島美紅／東京・ラフ・クルー大泉保育園長

1984年、埼玉県入間市生まれ。短大を卒業後、入間市にある認可保育園に入職。アートの要素を保育に採り入れようと模索してきたが、入職10年を区切りとして退職し、現職となり7年目を迎える。前職で2度、現職でも2度の産休を経て、4人の子育てに奮闘しながら、「アート×自然」な保育を目指している。

(株)コミュニティハウスによる練馬区認可保育所。0～2歳児36名定員。園庭はないが、緩やかな異年齢保育と保育環境に力を入れている。



本間日出子／山形県・三瀬保育園長

三瀬保育園。鶴岡市郊外にあり、海や山が近く、その恩恵を保育に存分に活かしている。保護者や地域とともに進める保育環境の整備活動は8年目を迎えている。

保育専門学校を卒業後、埼玉県川口市の幼稚園に就職。帰郷後、三瀬保育園に勤務し、2009年より現職。2014年度より保育環境の整備に取り組んでいるが、恵まれた周辺の環境を活かした自然保育や、茶道や相撲などの伝統文化を採り入れた保育を積極的に実践している。



第2回目

保育環境づくりのヒントは、子どもたちの姿にある

～公私幼こ保の施設、経営母体に関係なく自園の子どもたちの学びを支える保育環境づくりを検討する～

――講師――

宮下葉子／北海道厚真町立宮の森こども園長

平成28年にへき地保育園からこども園になった。苫小牧に近く、若い世代の移住が増加している地区にある。

千葉県生まれ。親の転勤で3年ごとに転校の幼少期を過ごす。大学卒業後、東京の建設会社でOLをしていたが、ひよんなことから憧れの北海道に住み始めてかれこれ20年超。毎日、空の広さに感動している。娘2人の子育て経験から子どもの面白さを実感し、保育の仕事に就く。現在は大人2人+猫1匹で田舎暮らしを楽しんでいる。



児玉匡信／愛知県・守山幼稚園長

「ママ、今日も幼稚園楽しかったよ。」と帰った時に言ってくれたら親も嬉しいはず。詰まるところそこに尽力している幼稚園です。も大人も『共育て共育ち』している毎日です。

1977年11月生まれ。園長8年目。お寺の長男として大いに甘やかされて育った結果、横着で図々しくも健やかに育つ。しかし、バカなボンボンにだけはなるまいとたくさんの世界の扉を開き続け、面白い人や面白い情報を仕入れては現場にシェアしたり、実際に園に連れてきて研修をしている。それこそが園長の仕事だと思い込んでいる園に全然いない園長先生。



第3回目

保護者と一緒に園全体で保育環境作りを楽しむ

～子ども・保育者・保護者という、トリレンマからの脱却をめざす取り組み～

講師

瀬沼幹太／神奈川・鳩の森愛の詩瀬谷保育園長

楽しいとき、困ったとき、どうしていいかわからなくなってしまうとき、嬉し涙がほほをつたうとき、私たち保育者の傍らにはいつもお父さんお母さんがいます。私たちの思いに共感してくださるお父さんお母さんがいるからこそ、私たちは新しいチャレンジへ踏み出すことが出来ます。子どもたちを真ん中に、保護者と保育者が手をつなぎ合い支え合いながら 子どもも大人も『共育て共育ち』している毎日です。



宮武大和／北海道・札幌トモ工幼稚園主幹教諭

親子で登園可能な幼稚園として毎日園開放を行い、子育て家庭がつながるコミュニティをつくることで家族全体を支えることを目指している。多様な人間関係や自然環境のなかで、子どもも大人も実体験から学ぶことを大切にしている。

子どものころに海・山・川・街で毎日遊んで暮らした経験をこれからの子どもたちにも手渡したいという思いで保育者となる。保育の傍ら、子どもたちの日々の生活を撮影し、保育雑誌への写真提供や原稿執筆も行っている。

共著書に『子どもの育ちと環境』（ひとなる書房2008）がある。公益社団法人こども環境学会評議員。



〈〈特定非営利活動法人 全国認定こども園協会 入会のご案内〉〉

当協会は、2008年8月、すべての子どもの最善の利益のために、公・私、幼・保、類型の違いを超え、認定こども園の充実・振興に貢献できる全国団体を目指し設立された協会です（2009年より特定非営利活動法人）。

トップセミナー、経営セミナー及び全国7地区での地域活性化研修会では、多数の参加者を得て、設置者・園長及び現場保育者のための学びを中心に、認定こども園の“現場”を大切にした研修を開催しております。また、「子ども・子育て会議」では当協会理事がその委員となり、制度の改革や運用の改善に積極的に発言を行っております。

次代を担う、すべての子どもの最善の利益に貢献するために事業を推進してまいります。新規会員を随時募集しておりますので皆様の積極的なご加入と、ご支援をお願いいたします。この機会に、ぜひ入会をご検討いただけますと幸いです。

■ 主な会員特典内容

- * 当協会が主催、共催（一部後援を含む）する研修会に会員価格にてご参加いただけます。
- * 3府省等から発出される事務連絡情報等をメールにて迅速にお知らせいたします。
- * 会報を発送いたします。（年3回程度・不定期）
- * 認定こども園保険 ※1.（賠償責任・傷害）」にご加入いただけます。

※1. 認定こども園のみ対象となります。

■ 入会方法

- * ホームページよりお申込みください。
<http://www.kodomoenkyokai.org/join.php>
FAXの場合：本紙裏面の入会申込書に必要事項を記入しお送り下さい。
- * 入会お申込み後事務局よりメール及びFAXにて入金をお願いいたします。



《《おおぞら教育研究所とは？》》



子どもたちの「やってみたい！」を支えるためには、 おとなが安心して楽しく保育できることが大事！

おおぞら教育研究所では、さまざまな活動を保育者や保護者、地域の人たちと一緒にあって取り組むことを通して、より多くの方が幸せになっていくことを目指しています。

ワークショップや研修を繰り返すことで、おとな自身が、保育の中で何が重要で、本当は何をやりたいのかが見えてきます。格好いい・憧れるおとなの背中があふれる園。子どももおとなも、早く園に来たい！と感じられる毎日。「子ども・おとな」、「保育者・保護者」、「園のひと・そうでないひと」、こんな構図が溶けてなくなるくらい、みんなが楽しく暮らしていける地域・園になればと願っています。

月の裏側は普段見ることができません。でも、地球を飛び出せば見ることができます。ひとは枠の中で生きています。これが悪いわけではなく、時にはこの枠から飛び出してみると、実は日々の暮らしの中で気づかなかったけれど、とっついてもすてきなことがあふれるところだったことに気づけます。そんなことのお手伝いができれば、私たちも幸せだなあと感じながら、全国を廻っています。

【研修】

保育の中でおとなが困っている事や不安なことを出し合い、何を見直していけばいいのかを明確にしていきます。こんなものがあったらいいな！これやりたいな！も大切に、自身や仲間のワクワクを大事にしていきます。

ドキュメンテーションなどを使い、整備が進む保育環境でみられる日々のドラマのステキさに気づき、楽しみながら発信していくことで、ここにいる幸せをより感じ、おとな自身の自尊感情も高まり、このことが、子どもの幸せにもつながっていきます。



【ワークショップ】

不安を安心へ。工具を使って自分たちで環境整備！自分たちの手で不安を取り除き、より安心感を得られ、それでいて楽しい・ワクワクする環境を創っていきます。この中で、集うひとたちの心の距離が今以上に縮まっていきます。

目に見える環境を変えることで、子どもの姿は変わりますが、目に見えない部分、この環境にしみ込んでいくおとなたちの思いがより子どもを元気づけ、保育の質をより高めていく原動力になります。

不安感らは身を守るために必要なものですが、不要な不安感を取り除くことができれば、その分、自分（たち）が本当にやりたいことに気を向けられます。

木村 歩美

おおぞら教育研究所代表、保育環境研究家。公立小学校・幼稚園教諭、保育専門学校講師などを経て、現在はフリーランス。東洋大学ライフデザイン学部非常勤講師。著書に『子どもが自ら育つ園庭整備』（ひとなる書房、2018）や『保育学を拓く』（萌文社、2012）、『子どもの育ちと環境』（ひとなる書房、2008）などがある。全国各地の保育施設を廻り、先生たちの「やってみたい！」を応援する研修コーディネーター。「楽しい」をキーワードに、園庭や室内の環境整備をその園のスタッフ、保護者、地域の方と協力しながら研修をしている。縄文と日本酒とオヤジギャグが好き。



大島 智子

おおぞら教育研究所研究員。大学を卒業後、札幌市内にある認定こども園で7年間勤務。現在は、フリーランスとして活動する傍ら、当研究所の研究員として活動に参加。子どものまさに「今」を未来につなげるエピソードをうかがった園で集め、それをその後の研修で使ったり、自身の整備経験に基づくワークショップの運営に携わったりして、全国を廻る。2021年7月より、北海道厚真町が進めているこども園魅力化発信事業受託に伴い、研究員として当園に定期的に通い、より魅力ある保育の発信をスタッフとともにめざし、事業を進めている。



《《資料の購入について》》

講座の参加に際して、以下の資料を事前にお求めになることをお勧めいたします。

○おおぞら教育研究所冊子 2020 ビエンナーレ

1冊 1,100円+送料

お申し込みは (<https://forms.gle/4Vpz4d&zxwHJH2ncV7>) 担当大島まで

○『子どもが自ら育つ園庭整備』（ひとなる書房、2018）

右のQRコード（Amazon）からご購入いただくか、もしくはひとなる書房

（送料無料）の公式サイト (<http://hitonarushobo.jp/>) からお求めください。

冊子2020お申込み



子どもが自ら育つ園庭整備

